

2019年(令和元年)11月7日(木曜日)

台風19号義援金

▼鶴ヶ島100キウオーク実行委員会(清水伸雄会長) 同実行委員会の清水伸雄会長、三上茂設営部長、北尾徳次総務部長が6日、さいたま市北区の埼玉新聞社を訪れ、「台風19号で被災した県民の皆さんのために役立て

てください」と2万9742円を埼玉新聞・社会福祉事業団に義援金として寄託した。写真。浄財は10月26、27日に開催した「第1回鶴ヶ島100キウオーク」の参加者から寄せられたもの。

鶴ヶ島富士見中央近隣公園をスタートし、鶴ヶ島市、日高市、越生町、毛呂山町、坂戸市、川島町、川越市の4市3町を制限時間26時間内に歩いた。県内だけでなく、北海道や大阪などからの参加者もあり、13、80歳の178人が参加し、137人が完歩した。台風19号の影響で開催も危ぶまれたが、実行委員が数回にわたって事前の下見を行い、事故もなく行われた。

